

## ○宮古島での J0067 の観察

J0067 は 2013 年に兵庫県豊岡市に生まれ、巣立った個体である。鹿児島県奄美大島を経由した後、2018 年 3 月 28 日に宮古島に飛来した。現在は、伊良部の佐和田の浜を主な採餌場所とし、近辺のため池等をねぐらにしていることが分かっている。コウノトリは全般的に水田での採餌が多く報告されているのに対して、J0067 のほとんどの報告が干潟での採餌であり、干潟を好んでいることが考えられる。干潮の時間になると佐和田の浜に飛来し、採餌を始めることが多いということが調査員の方の報告で明らかになった。さらに、冬季は干潟に飛来する頻度が夏季に比べて低いのではないかとすることも聞き取りでわかった。季節によって、干潟での餌生物の量や潮の満ち引きの違いによって採餌場を選択している可能性がある。また、コウノトリ市民科学の報告から J0067 が魚類やウミヘビなどを捕食していることが分かった。特に、J0067 は採餌方法が特徴的で、飛翔しながら素早く魚を追い掛け回す行動が観察された。魚を目で追いながら、跳ねるように飛ぶことで方向転換を行い、逃げる魚を捕食しようとする様子が調査員の方が記録した映像から明らかになった。他にも、羽をはばたかせながら、両足を水面からあげて素早く歩くようにして魚を追いかける姿も観察された。さらに、餌の探索の際にくちばしだけでなく、頭部全体が海水に浸るまで顔を水中に入れている様子も観察された。これらの採餌方法や採餌場の選択、長距離移動など、J0067 は非常に個性的な個体であることがいえる。コウノトリは個体によって個性が異なることが言われており、それらの個性がペアの形成や繁殖成功に影響する可能性がある。個性が野生復帰においてどのような影響を与えるかということ調べるために、特徴的な J0067 は重要な個体であり、継続的な観察が必要である。そのために、宮古島で多くの市民の方にコウノトリ市民科学を普及し、コウノトリに興味をもってもらうことが重要である。



※赤いポイントはよく観察される場所





写真 1 ダツの捕食



写真 2 潜って餌を探す様子



写真 3 飛び跳ねて採餌する様子



写真 4 佐和田の浜と J0067